

《 特色 》 学悠館高校の探究活動では、「自分はどのような人間なのか」「自分は何ができるのか、何をしたいのか」「自分は将来どのように社会と関わっていくのか」…このような問いに向き合い、様々な学びを通して視野を広げ、自分自身を深く見つめます。そして、自己の個性を理解し、将来の展望につなげます。

年間予定

1年 自分を知る、多様な生き方を知る

- 4月 「じぶん未来学」
「適学・適職診断」
- 5月 進路探究オリエンテーション
- 6月 進路探究開始
「働くことについて考える」
- 8月 アンケート調査
インタビューの実施
校内生活体験発表会
- 2月 進路探究まとめ

2年 自分の将来を具体的に描く

- 4月 「じぶん未来学」
トチギストになろう
- 6月 進路探究開始
「社会問題・課題について考える」
- 8月 校内生活体験発表会
- 2月 進路探究まとめ

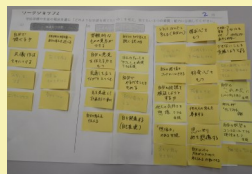
3,4年 自分の進路を実現する

学びの成果を進路資料集「みらいへの扉」にまとめ、後輩に伝える。

これまでの主な取組

●探究のグランドデザインを作成

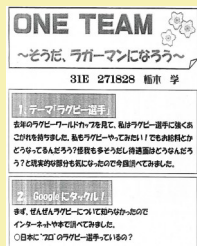
校内組織「NSP (Next Stage Project) Bチーム」を中心に、ワークショップ形式の勉強会を企画し、探究を通して育成したい生徒の資質・能力と探究の目標を全職員でまとめた。



職員からの意見

●オリジナル教材の作成

調べ方、アポイントメントの取り方、インタビューの方法など、実践力を高める教材を作成した。これらの教材により探究活動がスムーズに進むようになった。



まとめ方を詳しく示した教材

point1

自分を見つめる時間から、自己理解の大切さと、これからの出会いや経験が自分の成長につながることに気付く。

《 気付きを促すための問いの例 》

- ・今、重視する価値は何？、それはなぜ？
- ・他の人の価値観はどうだろう？
- ・私にとって豊かな生き方とは？



point2

マインドマップを使った課題設定など、学校独自の教材を使って探究の方法を学び、その後の活動に活かす。

《 指導のポイント 》

書籍等で調べるだけではなく、アンケートやインタビューなどの調査活動が行えるように、ワークシートを用いて個別に丁寧に支援した。

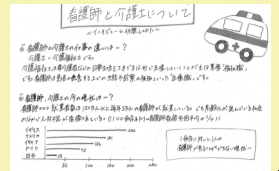


point3

探究の成果をA4用紙にまとめ、教室に掲示し、それらを相互に見て、質問や意見を出し合い、ブラッシュアップする。

《 指導のポイント 》

自分の考えや、今後の展望も含めて示すとともに、見やすく簡潔に伝わるまとめ方を工夫させた。



point4

高校時代を通して得た自身の成長が発表テーマ。自分の課題、卒業後の生き方などに向き合う。

《 生徒の主な発表題 》

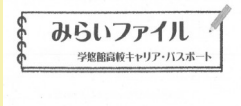
- 「悔しさをバネに3度目の正直」「未来への一歩」「一つの好意」
- 「新しい自分」「良い人生を歩むためには」「HEROES」
- 「人生たのしんだもんがち」「運命の出会い」



これから目指す取組

●学校独自のキャリア・パスポートを効果的に活用する。

生徒が自身の成長を振り返ることができると共に、進路探究の取組を志望理由書等にまとめる際にも活用できる。教員も評価の際の資料として活用する。



《 担当者の声 》 「総合的な探究の時間」担当 吹上 久志

初年度は自己理解に充てる時間が少なく、いざ探究を始めても動き出せない生徒が多かったため、今年度は自己理解の時間を増やしました。探究を行うことで、生徒は進路に対する興味・関心を深めながら、これまでの自分のイメージとのギャップを理解し、自分の進路について考え直すことができるようになりました。